

Ⅱ 調査結果の概要

注) 文中において、今期、来期については、特に説明がない限り、以下の時期である。

○ 今期 平成27年 7月～平成27年 12月期

○ 来期 平成28年 1月～平成28年 6月期

1. 景況天気図

【業況判断(全体)】

	H27年7~9月期(実績)	H27年10~12月期(実績)	H28年1~3月期(見込み)	H28年4~6月期(見通し)
全体				
BSI	(▲20.7)	(▲20.4)	(▲33.2)	(▲26.1)

【従業者規模別】

	H27年7~9月期(実績)	H27年10~12月期(実績)	H28年1~3月期(見込み)	H28年4~6月期(見通し)
4人以下				
BSI	(▲36.2)	(▲36.5)	(▲44.1)	(▲34.4)
5人~19人				
BSI	(▲20.5)	(▲18.9)	(▲30.5)	(▲27.0)
20人以上				
BSI	(▲5.4)	(▲6.1)	(▲25.0)	(▲16.9)

【業種別】

	H27年7~9月期(実績)	H27年10~12月期(実績)	H28年1~3月期(見込み)	H28年4~6月期(見通し)
製造業計				
BSI	(▲24.4)	(▲24.4)	(▲41.0)	(▲31.4)
非製造業計				
BSI	(▲19.6)	(▲19.3)	(▲31.0)	(▲24.6)
建設業				
BSI	(▲21.0)	(▲12.7)	(▲37.0)	(▲32.0)
運輸・通信業				
BSI	(▲4.2)	(▲0.9)	(▲16.1)	(▲13.5)
卸・小売業				
BSI	(▲24.8)	(▲25.5)	(▲34.0)	(▲24.2)
飲食・宿泊業				
BSI	(▲26.3)	(▲33.3)	(▲32.4)	(▲19.2)
サービス業				
BSI	(▲20.0)	(▲24.3)	(▲31.4)	(▲27.1)

※ 各期のBSIが前期と比べて10ポイント以上の差が生じた場合には、矢印を表記している。

【凡例】

天気マーク						
BSI水準	(30.1~)	(10.1~30.0)	(▲10.0~10.0)	(▲10.1~▲30.0)	(▲30.1~▲50.0)	(▲50.1~)

2. 調査結果の総括

新潟市内事業所の「業況判断」について、平成27年7～9月期は前期（同4～6月期）から改善した。続く10～12月期はほぼ同水準で推移したが、足元の28年1～3月期は再び悪化した。先行きについてみると、同4～6月期はやや改善する見通しとなっている。

今期における他の主要項目のBSIをみると、「生産・売上」、「受注」、「出荷量」は上昇し、「資金繰り」は改善した。「仕入価格」、「販売価格」はともに低下した。また、「在庫水準」は製・商品の過剰超幅が縮小したほか、原材料が適正水準となった。

経営上の問題については、「人材不足」の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」、「競争の激化」、「仕入価格の上昇」と続いている。

業界の動向については、2020年の東京オリンピック開催を前にした先行需要の取り込みや原油安を背景にした仕入価格の下落などから、業況が改善したとの声がある一方、競争激化による受注環境の悪化、人材不足や人件費の高止まりによって、業況悪化を懸念する声が数多くみられた。

3. 新潟市景況調査結果（BSI）の総括表

1. 業況 P. 12～	<ul style="list-style-type: none"> 27年7～9月期の業況感を示した業況BSI（「良い」－「悪い」）は▲20.7と、同4～6月期の▲24.2から3.5ポイント改善した。続く27年10～12月期は▲20.4と、ほぼ同水準で推移したが、足元の28年1～3月期は▲33.2と、27年10～12月期から12.8ポイント悪化した。 先行きについてみると、28年4～6月期は▲26.1となり、同1～3月期から改善する見通しとなっている。
2. 生産・売上 P. 20～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の生産・売上BSI（「増加」－「減少」）は▲13.3と、27年4～9月実績（▲17.5）から4.2ポイント上昇した。来期は▲22.1と、低下する見通しとなっている。
3. 受注 (製造業・建設業のみ) P. 25～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の受注BSI（「増加」－「減少」）は▲18.6と、27年4～9月実績（▲22.3）から3.7ポイント上昇した。来期は▲32.9と、低下する見通しとなっている。
4. 出荷 (製造業のみ) P. 28～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の出荷量BSI（「増加」－「減少」）は▲16.1と、27年4～9月実績（▲17.3）から1.2ポイント上昇した。来期は▲27.6と、低下する見通しとなっている。 今期の出荷額BSI（「増加」－「減少」）は▲15.2と、27年4～9月期実績（▲18.6）から3.4ポイント上昇した。来期は▲27.1と、低下する見通しとなっている。
5. 在庫水準 (原材料在庫は製造業のみ) P. 33～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の製・商品在庫BSI（「過剰」－「不足」）は1.6と、27年4～9月実績（2.7）から1.1ポイント過剰超幅が縮小した。来期については1.4と、今期とほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 今期の原材料在庫BSI（「過剰」－「不足」）は0.0と、27年4～9月実績（2.6）から2.6ポイント低下し、適正水準となった。来期は▲3.3と、不足超に転じる見通しとなっている。
6. 価格 P. 41～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の仕入価格BSI（「上昇」－「低下」）は17.1と、27年4～9月実績（28.9）から11.8ポイント低下した。来期については11.6と、さらに低下する見通しとなっている。 今期の販売価格BSI（「上昇」－「低下」）は▲4.5と、27年4～9月実績（▲1.6）から2.9ポイント低下した。来期は▲6.8と、さらに低下する見通しとなっている。
7. 資金繰り P. 51～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の資金繰りBSI（「好転」－「悪化」）は▲10.7と、27年4～9月実績（▲14.5）から3.8ポイント改善した。来期は▲13.2と、悪化する見通しとなっている。

<p>8. 雇用 P. 56～</p>	<ul style="list-style-type: none"> 27年度の雇用BSI(正社員の数) (「増加」－「減少」)は0.8と、26年度(▲1.6)から2.4ポイント上昇した。28年度は3.3と、さらに上昇する見通しとなっている。 27年度の臨時・パート社員等の雇用BSI(増加－減少)は▲0.5と、26年度(▲2.2)から1.7ポイント上昇した。28年度は0.4と、マイナスからプラスに転じる見通しとなっている。 今期の所定外労働時間BSI(「増加」－「減少」)は▲0.5と、27年4～9月実績(▲3.7)から3.2ポイント上昇した。来期は▲5.5と、低下する見通しとなっている。 今期の1人当たり人件費BSI(「増加」－「減少」)は19.9と、27年4～9月実績(19.8)とほぼ同水準で推移した。来期は17.8と、低下する見通しとなっている。
<p>9. 設備投資動向 P. 76～</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今期の生産設備BSI(「過剰」－「不足」)は▲6.4と、27年4～9月期(▲5.2)から1.2ポイント低下し、不足超幅が拡大した。来期は▲6.5と、今期とほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 今期の営業用設備BSI(「過剰」－「不足」)は▲4.5と、27年4～9月期(▲4.2)とほぼ同水準で推移した。来期は▲4.2と、横ばいで推移する見通しとなっている。 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は24.7%と、前年度より4.1ポイント上昇した。28年度は17.3%と、低下する見通しとなっている。 27年度の設備投資目的としては、「既存機械・設備の入れ替え」が57.8%と、最も高くなっている。
<p>10. 経営上の問題 P. 85～</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(39.6%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(36.1%)、「競争の激化」(26.7%)、「仕入価格の上昇」(26.6%)と続いている。

4. 業種別 新潟市景況調査結果 (BSI) の総括表

<p>製造業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 27年7～9月期の業況判断BSIは▲24.4と、同4～6月期(▲21.6)から2.8ポイント低下した。続く27年10～12月期は▲24.4と横ばいで推移したが、足元の28年1～3月期は▲41.0と、大幅に低下した。先行きについてみると、28年4～6月期は▲31.4と、上昇する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲19.3と、27年4～9月実績(▲22.5)から3.2ポイント上昇した。来期は▲27.1と、低下する見通しとなっている。 今期の受注BSIは▲14.7と、27年4～9月実績(▲21.6)から6.9ポイント上昇した。来期は▲27.2と、低下する見通しとなっている。 今期の製・商品在庫BSIは▲1.8と、27年4～9月実績(3.9)から5.7ポイント低下した。来期は0.0と、適正水準に達する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは22.1と、27年4～9月実績(40.3)から18.2ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲12.9と、27年4～9月実績(▲4.8)から8.1ポイント低下した。 今期の資金繰りBSIは▲17.1と、27年4～9月実績(▲14.3)から2.8ポイント悪化した。来期は▲15.2と、やや改善する見通しとなっている。 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は35.3%と、前年度実績(25.7%)から上昇した。 経営上の問題については(複数回答)、「生産・受注・売上げ不振」(47.0%)の割合が最も高く、以下「仕入価格の上昇」(34.6%)、「人材不足」(32.7%)と続いている。
------------	--

<p>非製造業 計</p>	<ul style="list-style-type: none"> 27年7～9月期の業況判断BSIは▲19.6と、同4～6月期(▲25.0)から5.4ポイント上昇した。続く27年10～12月期は▲19.3とほぼ同水準で推移したが、足元の28年1～3月期は▲31.0と、大幅に低下した。先行きについてみると、28年4～6月期は▲24.6と、上昇する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲11.6と、27年4～9月実績(▲16.0)から4.4ポイント上昇した。来期は▲20.6と、低下する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは15.6と、27年4～9月実績(25.7)から10.1ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲2.1と、27年4～9月実績(▲0.7)から1.4ポイント低下した。 今期の資金繰りBSIは▲8.8と、27年4～9月実績(▲14.5)から5.7ポイント改善した。来期は▲12.7と、悪化する見通しとなっている。 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は21.3%と、前年度実績(18.9%)から上昇した。 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(41.5%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(33.0%)、「競争の激化」(27.2%)と続いている。
<p>建設業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 27年7～9月期の業況判断BSIは▲21.0と、同4～6月期(▲25.6)から4.6ポイント上昇した。続く27年10～12月期は▲12.7とさらに上昇したが、足元の28年1～3月期は▲37.0と、大幅に低下した。先行きについてみると、28年4～6月期は▲32.0と、上昇する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲17.6と、27年4～9月実績(▲23.6)から6.0ポイント上昇した。来期は▲30.4と、大幅に低下する見通しとなっている。 今期の受注BSIは▲23.2と、27年4～9月実績(▲23.1)からほぼ同水準で推移した。来期は▲39.8と、大幅に低下する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは19.4と、27年4～9月実績(16.8)から2.6ポイント上昇した。今期の販売価格BSIは▲8.3と、27年4～9月実績(▲12.5)から4.2ポイント上昇した。 今期の資金繰りBSIは▲9.4と、27年4～9月実績(▲14.6)から5.2ポイント改善した。来期は▲16.6と、悪化する見通しとなっている。 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は22.2%と、前年度実績(15.8%)から上昇した。 経営上の問題については(複数回答)、「生産・受注・売上げ不振」(42.5%)の割合が最も高く、以下「人材不足」(41.4%)、「労働力不足」(34.8%)と続いている。
<p>運輸・通信業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 27年7～9月期の業況判断BSIは▲4.2と、同4～6月期(▲10.5)から6.3ポイント上昇した。続く27年10～12月期は▲0.9とさらに上昇したが、足元の28年1～3月期は▲16.1と、大幅に低下した。先行きについてみると、28年4～6月期は▲13.5と、やや上昇する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲0.8と、27年4～9月実績(▲7.3)から6.5ポイント上昇した。来期は▲16.1と、大幅に低下する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは▲9.3と、27年4～9月実績(3.2)から12.5ポイント低下し、マイナスに転じた。今期の販売価格BSIは0.8と、27年4～9月実績(3.3)から2.5ポイント低下した。 今期の資金繰りBSIは5.1と、27年4～9月実績(▲3.3)から8.4ポイント改善し、プラスに転じた。来期は0.0となる見通しにある。 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は32.7%と、前年度実績(28.6%)から上昇した。 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(55.1%)の割合が最も高く、以下「労働力不足」(33.9%)、「生産・受注・売上げ不振」(25.4%)と続いている。

非製造業	卸・小売業	<ul style="list-style-type: none"> 27年7～9月期の業況判断BSIは▲24.8と、同4～6月期(▲24.6)からほぼ同水準で推移した。続く27年10～12月期も▲25.5とほぼ同水準で推移したが、足元の28年1～3月期は▲34.0と、低下した。先行きについてみると、28年4～6月期は▲24.2と、上昇する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲12.4と、27年4～9月実績(▲14.6)から2.2ポイント上昇した。来期は▲18.3と、低下する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは19.7と、27年4～9月実績(39.8)から20.1ポイント低下した。今期の販売価格BSIは1.3と、27年4～9月実績(8.7)から7.4ポイント低下した。 今期の資金繰りBSIは▲10.4と、27年4～9月実績(▲15.8)から5.4ポイント改善した。来期は▲13.1と、悪化する見通しとなっている。 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は19.4%と、前年度実績(23.2%)から低下した。 経営上の問題については(複数回答)、「競争の激化」(38.6%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(35.3%)、「人材不足」(32.0%)と続いている。
	飲食・宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> 27年7～9月期の業況判断BSIは▲26.3と、同4～6月期(▲45.3)から19.0ポイント上昇した。続く27年10～12月期は▲33.3と低下したが、足元の28年1～3月期は▲32.4と、ほぼ同水準で推移した。先行きについてみると、28年4～6月期は▲19.2と、上昇する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲4.0と、27年4～9月実績(▲28.2)から24.2ポイント上昇した。来期は▲8.1と、低下する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは42.4と、27年4～9月実績(56.4)から14.0ポイント低下した。今期の販売価格BSIは8.0と、27年4～9月実績(2.5)から5.5ポイント上昇した。 今期の資金繰りBSIは▲15.1と、27年4～9月実績(▲33.3)から18.2ポイント改善した。来期は▲19.2と、悪化する見通しとなっている。 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は21.8%と、前年度実績(15.1%)から上昇した。 経営上の問題については(複数回答)、「仕入価格の上昇」(58.6%)の割合が最も高く、以下「人材不足」(38.4%)、「生産・受注・売上げ不振」(27.3%)と続いている。
	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> 27年7～9月期の業況判断BSIは▲20.0と、同4～6月期(▲22.0)から2.0ポイント上昇した。続く27年10～12月期は▲24.3と低下し、足元の28年1～3月期は▲31.4と、さらに低下した。先行きについてみると、28年4～6月期は▲27.1と、3期ぶりに上昇する見通しとなっている。 今期の生産・売上BSIは▲15.2と、27年4～9月実績(▲9.5)から5.7ポイント低下した。来期は▲22.3と、さらに低下する見通しとなっている。 今期の仕入価格BSIは10.9と、27年4～9月実績(19.4)から8.5ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲5.7と、27年4～9月実績(▲1.7)から4.0ポイント低下した。 今期の資金繰りBSIは▲11.9と、27年4～9月実績(▲9.9)から2.0ポイント悪化した。来期は▲12.9と、ほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は15.0%と、前年度実績(14.6%)と、ほぼ同水準となった。 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(42.4%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(30.0%)、「競争の激化」(27.1%)と続いている。